

学習指導要領		都立芦花高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命と科学技術、さまざまな医療技術と先端医療、生命倫理などの点から生命を巡る問題を理解できる。 ・高度情報化社会の進展、高度情報化社会の課題、情報倫理などの点から情報を巡る問題を理解できる。 ・生物多様性の保全と自然共生社会、深刻化する地球環境問題、地球環境問題への取り組みなどの点から環境を巡る問題を理解できる。
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義・特徴・課題やパーソナリティの形成などをおして青年としての在り方・生き方が理解できる。 ・古代ギリシャの知恵や古代中国の知恵、仏教やキリスト教、イスラームの思想、カントやデカルトの思想などをとらして先人の生き方・考え方が理解できる。 ・日本の伝統思想、外来思想の受容と現代日本、国際社会に生きる日本人などの点をとらして日本人としての自覚が理解できる。

学習指導要領	都立芦花高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所のしくみや役割、地方自治の現状と課題などをとらして日本の政治機構を理解できる。 ・政党の役割、選挙と選挙制度、世論の形成と現代民主政治の課題、行政権の肥大化と民主化などの諸点をとらして政治参加と民主政治の課題を理解できる。
<p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <p>個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と社会のかかわり、法の種類、民主政治における個人と国家、民主政治の展開と法の支配、世界の主な政治体制などの点から民主政治の基本原則が理解できる。 ・明治憲法と日本国憲法、基本的人権の性格と平等権、基本的人権と自由権、基本的人権と社会権・参政権・請求権、新しい人権・人権の国際的広がり、平和主義と安全保障、日米安保体制と自衛隊海外派遣などの点から日本国憲法と基本的人権が理解できる。

学習指導要領	都立芦花高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済生活とルール、経済生活の仕組み、科学技術の進展、企業の働きとその役割などから経済社会の変容と現代の企業が理解できる。 ・ 市場経済の仕組み、市場経済の限界、国民所得と経済成長、政府の財政政策、日本銀行と金融政策、現代の金融問題などから市場機構と政府の役割が理解できる。 ・ 公害の発生と防止、消費者問題と消費者保護、労働問題の発生と労働運動、現代の労働問題、社会保障と福祉の歩み、社会保障制度の仕組みをとうして豊かな生活と福祉の実現が理解できる。

学習指導要領	都立芦花高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と国際法、国際社会と集団安全保障体制、国際連合の役割と課題、国際社会の動きなどから国際政治の動向が理解できる。 ・核兵器の廃絶と軍縮問題、地域紛争と人種・民族問題、国際社会と日本の地位、役割などの諸点から国際政治の課題と日本の役割が理解できる。 ・南北問題とその課題、発展途上国の多様化と南南問題経済統合と地域主義、グローバル化のなかの日本経済などの諸点から国際経済の課題と国際協力が理解できる。

学習指導要領		都立芦花高校 学カスタンダード
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>・「持続可能な社会」の形成に向けて、環境問題や貧困問題、食糧問題、少子高齢化、グローバル化などの様々な視点から考えることができる。ESD という言葉の意味も理解できる。</p>

